

Cabane des Vignettes 3157m(ヴィニエツ小屋)に泊まる

(報告) FY

◎山行期日 2025年6月30日～7月3日

◎連れあいと二人

2016年8月にオートルートを15日間かけて歩いた。そのときに幾つものスイスの山小屋に泊まった。Cabane des Moiry(モイリー小屋)やEuropehutte(ヨーロッパ小屋)など印象的な小屋が幾つもあった。シャモニーの東、ツエルマットの西に位置するオートルートの途中にあるアローラ村はスイスの南側に位置する。村の南側には3000m級の山々が聳え、イタリアとの国境をなしている。多くの氷河もあり、今回訪れたCabane des Vignettesも氷河に囲まれていた。この小屋は展望が素晴らしいという情報を得ていたのでいつか訪れてみたいと思っていたが実現した。

6月30日。ジュネーブから電車とバスを乗り継いでアローラ村に到着した。9年前と殆ど変わっていない静かな集落だ。GrandHotel&kurhausは4階建ての古いホテルだった。6月の料金は朝食付きでCHF129(約¥23000)。7月はCHF173(約¥31000)だった。やはりハイシーズンには料金が高くなる。標高1600mのこの地は避暑地として稼ぎ時なのだろう。部屋には冷蔵庫は無い、お湯も沸かせない、バスタブは無い。下のバーでお湯を貰い部屋で珈琲を飲む。



午後から登山口をチェックしに出かけるが途中で激しい雷雨に遭う。急いで部屋に戻り明日からの山行に備え準備をする。夕食は肉とパスタとサラダで赤ワインを頂く。フランス語がわからないので肉を頼んだらタルタルステーキが来た。美味し。

翌日は 7 時に朝食を頂き小屋に向かう。昨日、登山口をチェックしてあったので安心だ。行く手左側には Mont Collon 3636m が聳えている。氷河も見える。快適なトレイルだ。登り始めてスキー場を横切り大きな沢を越える。この沢に架かっていた橋が流されていたので新しい道が付けられていた。登山者は私たち 2 人だけだ。2 時間ほど歩くと本日のメインルートとなる Piece 氷河が左側に見えて来る。巨大な氷河だ。高度を上げるとアローラの集落が右下に見えてくる。氷河の手前で 4 人組の若者たちに抜かされた。彼らの荷物が少なかったので小屋まで行くのか聞いたら、行くとのこと。私たちはここで 12 本歯アイゼン・ヘルメット・ピッケルを装備し 10m ほどのザイルでアンザイレンする。クレバスがあるので気をつけながら歩き出す。氷河の下側は氷っていて細いクレバスが縦横に走っている。融けた水が氷の上を流れている。



ここから Piece 氷河が始まる



装備をして登り始める



Piece 氷河は大きい



右の岩の向こうが小屋だ

すると先行した4人組が下りて来た。ザイルもアイゼンも装備していなかったので小屋に行くのを諦めたようだ。地元の若者でも氷河を登るときの情報を持っていないのだなあとと思った。トレイルが見つからないのでクレバスに気をつけながら氷河の上を慎重に歩く。暫く歩くと上のほうで5人組のアンザイレンしたグループが登っているのを見つけた。小屋に行く道は他にもあるようだ。彼らのトレイルを使わせてもらおうと思い、後を追う。氷河が切れる上のほうに小屋の入り口が見えて来た。しかしここからが長かった。クレバスの心配がなくなったのでザイルをはずし歩く。小屋に到着したのが午後4時。7時間30分もかかった。疲れて足裏が冷たくなっていた。この小屋は岩で頑丈に造られている。1930年頃に造られたそうだ。1Fで登山靴・ピッケル・アイゼン・ヘルメット・雨具などを外し個人のカゴに入れておくようになっている。スキーを入れる部屋もある。各自スリッパに履き替え重いドアを開けて2Fに上がる。ここがレセプション。3~4人のスタッフが広いキッチンで働いている。夕・朝食付きで二泊 CHF308 (約¥53000) +追加個室料金 CHF200 (約¥36000) だ。スイス山岳会の会員だと40%引きなのでドミトリーに泊まれば経済的だ。個室は広くベッドも快適だ。窓からイタリア側の氷河や幾つもの3000m峰が眺められる。キャパは100人だそうだ。この小屋全体がセントラルヒーティングなので女性スタッフは短パンにTシャツで働いている。3Fにはトイレやシャワールームがある。洗面所も快適だ。ドミトリーもある。私たちの泊まる個室は4Fだ。3157mでこの快適さ。午後6時までならチャージが無料なのでスマホのチャージをする。



氷河は続く。予定では4時間ほどで小屋に着くはずだったがこの氷河は長い。

6時から夕食だ。私たちのテーブルは4人の男性フランス人と一緒だった。スープとマカロニとインゲンと牛肉の煮物。レモン味のケーキだった。ボリュームがあったが不味く、食欲が無かったが頑張ってもらいた。彼らは明日近くの山に登るといふ。氷河を越えてザイルを結んで登るのだろうか。「私たちは初めての氷河歩きだ」と言うと皆がコングラッチュレーションと祝ってくれた。こちらの人は良く食べる。皿は空になった。本日の客は15人。Cokeを頼んだら¥1200だった。スイスの物価は高い。スーパーでおにぎりが¥1000。レストランでカルボナーラ皿が28CHF。¥5000だ。時給が4300円。年収は日本の3.6倍だそうだ。円安でもあるが日本の失われた30年を実感した。



小屋の入り口。スイスの国旗



小屋の南側は切れ落ちている

7 時 30 分に朝食を頂く。他の客は全て下りたか登山に出かけてしまった。残っているのは私たち 2 人だけだ。私たちはこの小屋に泊まるのが目標だったので、ゆっくりと食事を取る。珈琲が美味し。食事のあと小屋の外に出て、360° の展望を楽しむ。凄い。氷河だらけだ。これだけの氷河に囲まれている小屋はそうないだろう。小屋の南側は 500m ほど切れ落ちている。凄まじい所に小屋を建てたものだ。アイゼンとピッケルがないとたどり着けない小屋はそうないだろう。山の名前はわからないが 3000m 級の山々が続く。向こう側はイタリア国境だ。

個室のベッドでまどろむ。午後レセプションを覗いたら 50 人くらいの客が来ていた。殆ど男性で、みなさん遅しかった。ビアを呑みながら寛いでいた。夕食はスープ、牛肉ライス、デザート。昨夜より美味かった。向かいの席に座ったスイス人のカップルは明日、Mont Collon 3636m の南側にある Eveque 3776m に登ると言っていた。3 時 30 分に起きて出かけるという。ザイルも持ってきていると言っていた。夜は激しい雨が降るも部屋の中は暖かい。

翌朝、50 人いた登山客はほぼ出かけていた。朝食は私たち 2 人と 4 人の家族のみ。珈琲とオレンジジュース、ハム・チーズが旨し。たっぷり頂いた。完全装備で 8 時 30 分に小屋を出る。雪渓を下る。4 人組の家族も一緒に下るので彼らのトレースを使わせてもらう。彼らは 52 歳の父親が同級生らしく、22 歳の男子 2 人も中が良かった。本来なら小屋を越えて南側の山に登り、隣の谷を下りる予定だったそうだが今年は雪が多いので小屋泊まりのみとの事だそう。



翌日の客は 50 人だった



夕食メインの牛肉ライスは旨し

見るとザイルやギアをぶら下げていた。本格岩登りの人達なのだろう。子どもがスマホを小屋に忘れたそう
で途中で引き返してきた。父親たちは子ども達のザックを担いで待っていた。子どもたちがやっとスマホを
持って下りてきた。クレバスを避けて歩く。6人で歩いたのでクレバスへの注意も散漫にならず安心して歩
けた。私たちもゆっくりと彼らと同じトレイルを歩いた。何度か雨につかまったが、下りは5時間でアロー
ラの kurhaus ホテルに到着した。シャワーを浴び、ゆっくりとバーで夕食を頂く。ウェイトレスに勧めら
れて豪華ステーキを頂く。121 CHF。二人で食べきれない巨大ステーキは初めてだった。うしろの席に座
っていた若いアメリカ人のカップルも同じステーキを頼んでいたがぺろっと食べてしまったのには驚いた。
肉を食べる文化が半端でない。明日からツエルマットに向かう。展望の素晴らしいスイスの小屋とグレイシ
ャーを十分に堪能したトレッキングだった。



個室の窓からの展望



小屋の南側は 3000mの山が続く



4人組の家族が氷河を下って
いる。しかし、子ども達が
スマホを忘れたので、この後、
小屋まで戻ってくる。

《コースタイム》

2025 年 6 月 30 日 (月)	Arolla GrandHotel&kurhaus 泊	129 CHF
7 月 1 日 (火)	Cabane des Vignettes 泊	308 CHF+200 CHF
	歩行 7 時間 30 分	
2 日 (水)	Cabane des Vignettes 泊	
	歩行 5 時間	
3 日 (木)	Arolla GrandHotel&kurhaus 泊	173 CHF

1 スイスフラン CHF=¥185

地図 283T 1 : 50000 Arolla